

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のウェブサイトに掲載	平成30年1月4日 ～1月18日	平成30年1月4日 ～1月18日	担当課へ直接または郵送、FAX、電子メールのいずれかで提出	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報にて実施案内を掲載	平成30年1月1日 広報へきなん1月1日号	平成30年1月4日 ～1月18日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	担当部署窓口での閲覧のほか、公民館等での閲覧	平成30年1月4日 ～1月18日	平成30年1月4日 ～1月18日		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・碧南駅と大浜口広場の間を遊歩道で接続すれば、事業効果がもっと上がると考えられる。</li> <li>・舟江町地内の廃線跡地を遊歩道として整備し、レールパークと碧南用水パイプラインの上部を利用した緑道あるいは矢作川堤防と接続すれば、大きな回遊性遊歩道が形成でき、本事業の事業効果がさらにアップすると思われる。</li> <li>・レールパークには駐車場が少ないので、廃線跡地を駐車場として活用することも考えられる。</li> <li>・志貴町と志貴崎町を結ぶ横断道路があると、利便性及び安全面の向上が図られ、レールパーク事業の恩恵が市民により分かってもらえると考えられる。</li> <li>・こんぴら広場にトイレを設置すると来訪者の利便性がより向上すると考えられる。</li> <li>・住民の交通安全に関する不安を解消するためには、都市計画道路大浜今川線、都市計画道路吉浜棚尾線などの道路の拡幅整備を行う必要があると考えられる。</li> </ul>
-------	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	千頭 聡氏(日本福祉大学教授)	平成30年1月31日	都市計画課	碧南市棚尾地区都市再生整備計画事業評価委員会設置要領	独自に設置
その他の委員	鈴木並生氏(碧南商工会議所会頭) 小野博之氏(公益社団法人愛知建築士会碧南支部長) 大竹密貴氏(大浜にぎわいづくり実行委員会委員長) 原田亜衣氏(碧南市女性団体連絡協議会委員) 金原功氏(碧南市連絡委員幹事会代表幹事)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・指標1の「④毘沙門通りの歩行者」の調査方法において、1日だけの調査では実態把握ができないのではないかというご意見をいただいた。 ・方法書に従って従前値と同様の調査を行ったが、フォローアップ時にはいただいた意見の内容を考慮して調査を行う旨を説明した。
	実施過程の評価	・都市整備を進めていく上では、地元住民の気持ちは大事であり、よりよい活動を続けていくためには、地元を大切に、いろいろなことを勉強しながら、まちづくり活動を引き続き行っていくことが重要であるというご意見をいただいた。
	効果発現要因の整理	・指標1の目標達成度の理由について、「ルールパークなどの整備により防災訓練の参加が促進された」とあるが、文章表現に少し違和感があるというご意見をいただいた。 ・文末を「満足度が向上した」という語尾にして、文章表現を修正してはどうかというご提案をいただいた。
	事後評価原案の公表の妥当性	・公表の妥当性については特に意見は出なかったが、棚尾地区以外の市民に市政アンケート等を活用して意見を聞いてはどうかというご意見をいただいた。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きについて、妥当に進められたことを確認した。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・ルールパークの延長線上で、まだ未整備の区間があるため、残された未解決の課題として追記してはどうかというご意見をいただいた。 ・該当の区間については、現在活用策などを検討しているところであり、来年度以降具体的な検討を行う予定であるため、現段階では評価の書き方について検討させてもらうという回答を行った。
	フォローアップ	・成果の評価で意見をいただいた毘沙門通りの歩行者の調査方法については、意見を考慮した調査方法とすることを回答した。
	その他	・特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくりの方策について、妥当に検討が進められたことを確認した。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚尾地区のことなのに、委員の中に棚尾地区の人がいないということに疑問を感じるという意見をいただいた。</li> <li>・棚尾地区の住民にはアンケートにより意見を把握しているとし、アンケート結果について補足説明を行った。</li> </ul>	